考古の日記念

出土文化財展

昭和６１年度発掘調査

1987

掛川市教育委員会

昭和６１年度発掘調査の内容

八景山古墳・原新田遺跡

１、調査地点　　上西郷字原新田58-1　外
２、調査の原因　城北小学校体育館建設に伴う拡張造成
３、調査の面積　２，８７５㎡
４、調査の期間　Ｓ６１年６月２日～１０月
５、調査の内容

弥生時代後期の住居跡１５軒と方形周溝墓１基、その他土抗１８基を確認した。また調査区の東域において大溝を確認しており、この集落（村）が環濠集落であることを確認した。尚、方形周溝墓の主体部から東日本では非常に珍しい鉄製短剣（長さ21,9cm・幅 2,9cm・厚さ 0,5cm）が完全な形で出土した。

八景山古墳については、規模直径１５ｍ・高さ　ｍの円墳であることがわかった。主体部からは、鉄製短剣（長さ33,2cm・幅 3,0cm・厚さ 0,8cm）が完全な形で出土した。

高田上ノ段遺跡

１、調査地点　　高田字大塚越1,047-1
２、調査の原因　茶園改植による緊急発掘調査
３、調査の面積　８５０㎡
４、調査の期間　Ｓ６１年８月２０日～１１月２０日
５、調査の内容

弥生時代後期の遺物を出した小穴１０５基、土抗４基、意味不明以降２０基を検出した。これらのことから、高田上ノ段遺跡の中心部が本調査地点の東側一帯にあることと、当時の集落（村）周辺の状況がわかった。

瀬戸山Ｉ－ａ遺跡

１、調査地点　　吉岡字花ヶ脇1,627
２、調査の原因　茶園改植による緊急発掘調査
３、調査の面積　４８３㎡
４、調査の期間　Ｓ６１年１０月２３日～Ｓ６２年３月３１日
５、調査の内容

弥生時代後期～古墳時代前期の集落の中心部を確認。住居跡２４軒、掘立柱建物跡４棟、小穴多数を検出した。出土遺物は、弥生式土器（壺・甕・高坏）古式土師器（壺・甕・高坏）多数である。

その他、近世陶器を出土した溝８条の検出、縄文時代中期土器・石器を出土した。

瀬戸山Ｉ－ｂ遺跡

１、調査地点　　吉岡字花ヶ脇1,909-8
２、調査の原因　茶園改植による緊急発掘調査
３、調査の面積　３０２㎡
４、調査の期間　Ｓ６２年１月１９日～３月３１日
５、調査の内容

弥生時代後期～古墳時代前期の集落の一端を確認。掘立柱建物跡１棟、その他小穴多数を検出した。出土遺物は弥生式土器（壺・甕・高坏）、古式土師器（壺・甕・高坏）である。

吉岡原遺跡

1、調査地点　　吉岡字道下1,537-1
2、調査の原因　茶園改植による緊急発掘調査
3、調査の面積　５７５㎡
4、調査の期間　Ｓ６１年１１月２１日～Ｓ６２年３月３１日
5、調査の内容

弥生時代後期～古墳時代前期の集落の一端を確認。住居跡８軒、掘立柱建物跡１棟、土抗１０基、小穴多数を検出した。出土遺物は、弥生式土器（壺・甕高坏）、古式土師器（壺・甕・高坏）である。

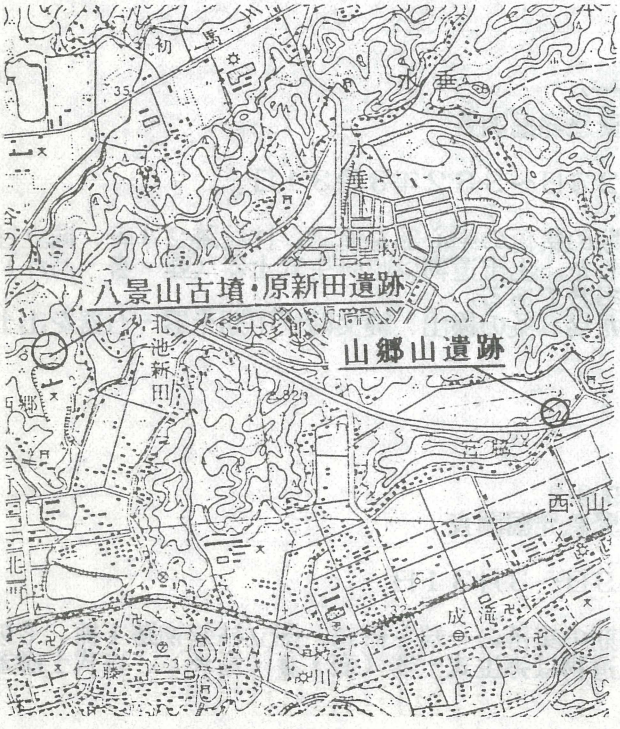
その他時代時期は不明であるが、古墳の周溝１条を確認している。

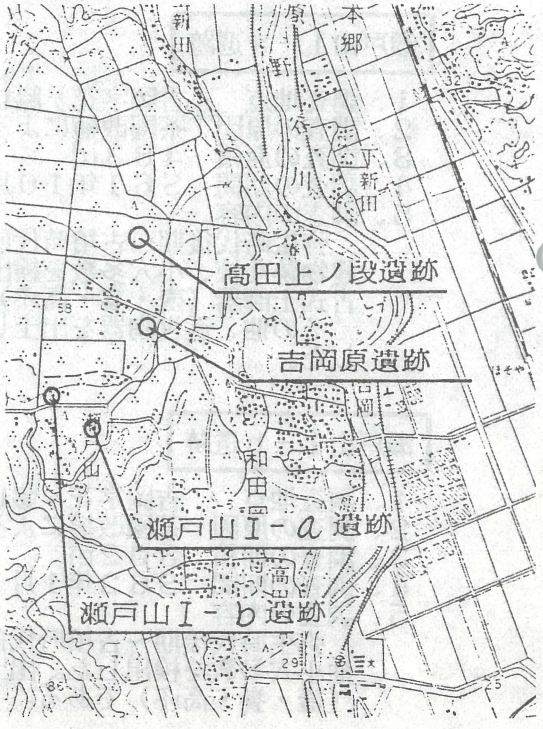
山郷山遺跡

1、調査地点　　宮脇字池村1,138-1 外
2、調査の原因　宅地造成
3、調査の面積　５４３㎡
4、調査の期間　Ｓ６２年３月９日～３月３０日
5、調査の内容

調査区山頂部に削り出し築造の塚（直径７ｍ、時期不明）１基、奈良時代及び近世（江戸時代）～現代の土坑墓１０基、時代不明の炭焼窯１基を検出。出土遺物は、奈良時代須恵器（坏）・土師器（甕・坏）、近世陶器、キセル等である。

遺　跡　の　位　置





文化財愛護シンボルマーク